

令和元年度 第1回みんなで支える森林づくり諏訪地域会議

開催日時 令和元年6月26日(水) 13:30~17:00
開催場所 現地(茅野市)及び諏訪合同庁舎502号会議室
出席委員 片倉正行 委員(座長代理・元林業総合センター所長)、中村くすみ 委員(カクダイ製材所有限会社)、松下妙子 委員(NPO 法人ふじみ子育てネットワーク代表)、宮坂佐知子委員(長野県建築士会諏訪支部副支部長)、牛山輝明 委員代理 行田淳一氏(原村役場農林課農村整備係長)
事務局 小野沢 地域振興局長、河原 諏訪建設事務所企画幹兼維持管理課長、石澤 林務課長、田中 企画幹兼林務係長、平林 課長補佐兼普及林産係長、戸上 課長補佐兼治山林道係長、宮原 主任、小林 地域林政支援活動業務嘱託員

現地調査

(1) H30 年度みんなで支える里山整備事業の取組み事例(茅野市永明寺山)

使用資料

- ・「茅野市永明寺山地区における森林税を活用した里山整備実績と計画」(資料1-1)



茅野市永明寺山

(2) H30 年度森林づくり推進支援金の取組み事例(茅野市上古田区)

使用資料

- ・「茅野市における平成30年度森林づくり推進支援金を活用した取組」(資料1-2)



茅野市上古田区

会 議

(1) 平成 30 年度の取組実績等について

使用資料

- ・「諏訪地域振興局平成 30 年度森林税活用事業実績一覧表」(資料 2-1)
- ・「諏訪地域振興局平成 30 年度森林づくり推進支援金実績一覧表」(資料 2-2)



○事務局

(資料 2-1 を説明)

○片倉座長代理

ただ今の説明について、質問・意見はいかがか。

特に無いようなので内容については了解とし、次の事項に進めさせていただく。

○事務局

(資料 2-2 を説明)

(市町村が作成した「平成 30 年度森林づくり推進支援金事業総括書」により、事務局が事業目的、内容、効果、検証・評価を説明し、各委員から意見を聴いた。)

《実施事業一覧》

岡谷市	①林業振興事業(市単間伐補助)、②林道等小規模修繕事業
諏訪市	市単林道整備事業(改良、舗装)
茅野市	①修景林間整備事業 ②森林税活用事業周知用看板作成
下諏訪町	①木製ベンチ作成展示事業 ②林道機能回復事業(改良)
富士見町	①松枯損木伐倒処理 ②丸太椅子(ベンチ)設置
原村	風倒木処理事業(平成 30 年 9 月台風 24 号)

○片倉座長代理

この事業(森林づくり推進支援金)を特に取り上げて議題とする理由を説明されたい。

○事務局

森林づくり推進支援金については、第 2 期まで地域会議の意見を聴いた上で事業を実施することとなっていた。

第 3 期からは市町村が事業の公表、検証・評価を行ない、地域会議はその報告に対し意見を述べる

ことになったためである。

○宮坂委員

市町村の裁量が拡大することは良いことである。

事業執行にあたっては、森林の自然景観に配慮してほしい。(諏訪市の林道整備における自然素材の活用、茅野市のPR看板設置における自然な色合い)

宮坂委員



○松下委員

松枯れを見ると心が痛む。地域に松くい虫を入れてはならない。

富士見町の取り組み（県産材を使用したベンチ設置）は、とても大事なことである。

地域でしか分からないことに手が届くため、市町村の裁量で事業執行できることは、とても良いこと。どの市町村も有効に活用されている。

松下委員



○中村委員

諏訪市の林道整備は、路肩が弱くなっていたのだから、(コンクリート工事も) 止むを得ないとも考えられる。

茅野市の修景林間整備事業は、高齢化が進む中、補助金があれば励みになると思う。

下諏訪町のベンチ作成展示も有効である。その他の事業も含め、それぞれ良く考えて使われている。

中村委員



○牛山委員代理（原村役場 行田農村整備係長）

市町村の立場で申し上げれば、この事業があることで助かっている。
今後も有効に活用していきたい。

牛山委員代理
（原村役場 行田係長）



○片倉座長代理

各委員から肯定的な御意見をいただいた。もっと地域の自主性を広げるため、予算の拡充を含め、より地域に還元される方向を検討してほしい。

片倉委員
（座長代理）



(2) 令和元年度の事業計画等について

使用資料

- ・「諏訪地域振興局令和元年度森林税活用事業計画一覧表（6月26日現在）」（資料3）

○事務局

（資料3を説明）

○宮坂委員

災害対策に予算付けされることが重要である。

ライフライン対策は、中部電力とも連携しているのか。

また、松くい虫対策はどうなっているのか。

○事務局

限られた予算を有効に活用するため、中部電力から停電の影響が大きい箇所の情報を得て、市町村と県が連携して、整備箇所の洗い出しをしている。

松くい虫対策は、異常な枯れ方をした松を早期発見して伐倒駆除することが有効であり、市町村と県が連携し、また、林業関係者からの通報もいただき、予防対策を講じている。

【全体を通して】

○片倉座長代理

本日、現地調査した茅野市永明寺山のような特殊伐採が必要となっている地域は岡谷市にも散見される。里山整備利用地域の立上げが必要とのことであるが、このような取組が拡大されるよう、事業を推進してほしい。

○松下委員

県民協働による事業は、強制ではなく自主的に住民が参加することが望ましい。そのためには住民意識の拡大が必要であり、次世代に向けた森林教育の取組が大切である。特に、学校教育ばかりではなく、生活に密着している中で、子供達が学べる仕組みを充実してほしい。

(3) その他（情報提供）

使用資料

- ・「令和元年度森林づくり県民税広報活動計画」（資料4）
- ・「平成31年度森林づくり県民税について～事業の内容及び目標～」
- ・「“里山とつながる暮らし”始めてみませんか」

○事務局

（資料4ほかを説明）

○事務局

今回は、11月を目途に、今年度事業の実施状況や来年度の取組方針等について、現地視察を交えながら開催させていただきたい。

（17時00分終了）